

議案 倉敷記念病院の全面建替えに伴う病床削減及び機能転換について

医療法人誠和会 倉敷記念病院から、別添のとおり、地域医療介護総合確保基金を活用する事業として、病院の全面建替えに伴う病床削減・機能転換事業計画が提出されました。

計画の内容は、病院全体の病床数を 194 床から 148 床へ削減し、機能転換を図るものです。

	現病床			全面建替え後の病床		
病床数	194床			148床		
	一般 98床	療養96床		一般 98床	療養50床	
病床機能	急性期	50床（一般）		急性期	35床（一般）	
	回復期	69床（療養）		回復期	113床（一般63床）	
	慢性期	48床（一般）			（療養50床）	

地域医療介護総合確保基金を活用する事業は、県南西部地域医療構想調整会議設置要綱第2条第3号に定められている、「医療介護総合確保促進法に基づく県計画（地域医療介護総合確保基金の事業計画）に盛り込む事業」に該当し、地域医療構想調整会議での協議事項とされおり、また、地域医療構想に沿いかつ圏域の地域医療構想調整会議において合意を得られることが必要となっています。

なお、岡山県地域医療構想では、県南西部地域医療圏における現在の病床数は、高度急性期病床・急性期病床・慢性期病床については過剰であり、回復期病床については不足していることから、計画の内容は、当圏域の目指すべき方向に沿った病床機能変更となっています。

令和3年度第1回県南西部地域医療構想調整会議 結果

議案	倉敷記念病院の全面建替えに伴う 病床削減及び機能転換について	地域医療構想の実現を図るための事業 として ・認められる 33 名 (委員総数 33名) 合 意
----	-----------------------------------	---